

1 全校集会の実施の促進

(1) 添付資料1～4を活用して「いじめSTOP! CMづくり」

いじめゼロ子どもセミナー2017では、「いじめSTOP! CMづくり」を通して、いじめの問題について考えました。イメージキャラクターである「ともだちピンク」「ともだちイエロー」「ともだちブルー」それぞれの視点から考えられる「いじめSTOP!」に向けてのメッセージを30秒のCMに表現していくというものです。改めて、3人のキャラクターの視点からのアプローチの大切さ、分かっているけど難しい行動化について自分自身を見直すきっかけとなりました。



(2) 添付資料5、6を活用して「演劇ワークショップ」

いじめゼロ子どもサミット2015では、演劇の手法を取り入れたワークショップに取り組みました。いじめの起きる場面を劇にして、登場人物の気持ちを想像しながらいじめを発生させないための知恵を話し合い、劇を修正しました。劇の修正は好評で、子どもの意識は、大きく変わっていくことが確かめられました。

【演劇ワークショップの手順例】

- ① 児童会、生徒会のリーダーや有志が、全校集会で問題提起の劇を披露。その後、役になりきったまま、フロアからの質問に答える。
- ② 各クラスで、「いやな感じ」を感受するシーンを共有し、劇の修正ポイントを話し合う。
- ③ 再び、全校集会で修正のアイデアを吟味し合う。

【演劇ワークショップのポイント】

- それぞれの登場人物の立場に立って、気持ちを考えること。
- 同じ演劇を見ても、人それぞれ感じ方が違う。そこで新しい解決策が見つかる可能性があること。
- 感じるボタンと、考えるボタンと、行動するボタンの3つを押すことができる。

2 いじめゼロ宣言の採択・広報啓発

同じ学校生活を営む仲間からのメッセージは、届ける人の心の中に残るはずです。ポスターや川柳を募集したり、児童会、生徒会自らが作成し広報したりすることも効果的な取組の一つです。

3 ネットいじめの防止と対応

いじめには、仲間外れや無視、陰口など、様々な態様があり、特にSNS上のいじめは閉ざされた空間でのやりとりとなる場合が多く、周りの人が気づきにくいので、当事者となる私たち自身が「相手の気持ちを思いやる」という意識をもつことが必要です。この問題について自分たちのルールをつくり、自分たちで守ることが大切です。なお、具体的に話し合うため、添付資料6で教材となる劇の台本を提供しています。

4 ピアサポートの推進

私たち仲間のつながり（絆）を深めることは、いじめを未然防止し、生き生きと学校生活を送ることにつながります。また、悩みや不安を一人で抱え込んでいるよりは、問題について語り、言葉で表現できる場や機会が、悩む人を救うことにつながります。後輩からの悩みをメッセージに書き、先輩が答えるという場やしくみができないか、知恵を絞ってみましょう。

5 テーマソングの活用

私たちのいじめゼロに向けた取組を知って協力してくれることになった、香川県出身のシンガーソングライター「mimika」さん。実行委員が歌詞に入れてほしいフレーズを考えて、それをもとにmimikaさんが曲を作ってくれました。曲のタイトルは、サミット当日の参加者全員で決めた「心つないで」です。この曲をテーマソングとして、私たちの絆づくりを進めていきましょう。

6 ひとりひとりの行動宣言「私の行動宣言」

集団で生活している以上、トラブルは起きるのが当たり前なのかもしれません。しかし、そのとき、あなたができることは何でしょう。トラブルがいじめにエスカレートしないようにあなたにしかできないことを考えて行動に移すことで、救われる仲間がいます。まずは「宣言」、そして「行動」化していきましょう。